

平和行進活動交流ニュース

発行：原水爆禁止国民平和行進中央実行委員会事務局団体・日本原水協
電話：03-5842-6035 FAX：03-5842-6033 Eメール：antiatom55@hotmail.com

2019年
5月9日
発行

2019年国民平和行進に海外から寄せられたメッセージ

2019年4月22日現在 翻訳：日本原水協事務局国際部

エミリー(エム)・クラーク(2018年国際青年リレー行進者) = 写真左端

ピースアクション・ニューヨーク州支部 事務局員(アメリカ)

原水協の友人のみなさん、

2019年平和行進に参加されるみなさんに連帯することができてとても嬉しいです。私は昨年、国際青年リレー行進者としてこの平和のための重要な旅に参加する光栄な機会を得て、刺激を受け、また身の引き締まる経験をしました。一緒に歩いた仲間の行進者たち、受け入れ組織の素晴らしい方々、そして自らの体験を語って下さった被爆者のみなさん



にいくら感謝しても足りないほどです。私は今年の平和行進を心から支持します。広島と長崎に米国が原爆を投下してから72年経った今も、核戦争が紛争時の選択肢として維持されている世界に私たちが生きていることは信じ難いことです。私たち青年は、未来の安全と世界の外交に関して重要な選択をせねばなりません。指導者たちの政策を恐れて行動しないまま、目を背けることもできるでしょう。でもそうではなく、立ち上がってより明るい明日を要求することもできるのです。過去を知り、被爆者の悲惨な証言から学んで、平和と協力を最優先にする非核外交を要求できるかどうかは、私たちにかかっています。私は日本の青年のみなさんが平和行進に参加するよう、そして私たち全員が享受すべき平和のために立ち上がるよう呼びかけます。

非核の世界をめざす全てのみなさんの献身的な努力に感謝します。

エム

サリフォディン・ビン・ハシム(ベン)(2018年国際青年リレー行進者)

フィリピン土地利用グリーンアドボカシー革命(LUGAR-Ph)共同創業者 エコツーリズム担当(フィリピン)

アッサラームアライクム！(平和のごあいさつを送ります)

広島・長崎の原爆投下を記念する行事に私が初めて参加してから1年が経ちます。この伝統を守ってこられたすべての人々に感謝を捧げます。みなさんの大きな努力、献身、そして次の世代への愛情なくしては、被爆者の体験が今に伝えられることはなかったでしょう。

平和を目指す行進を続けるみなさんに、私たちは声援を送り、行進者の健康と強い精神力が維持され



るよう祈ります。

短い間でしたが、みなさんと一緒に行進したことは、私と私のコミュニティに、平和を守り広げることがいかに大事かを教えてくれました。みなさんと並んで歩いて光栄でした。みなさんに心からの称賛と敬意を送ります!!!

被爆者のみなさん、75年にもわたってたゆまず被爆体験を語り一緒に行進してくださったことに感謝します。平和の贈り物をありがとうございます。

一緒に歩いた青年のみなさん、みなさんの地域に何よりも平和を最優先する献身的な人々がいることがどれほど幸運なことかを、ぜひ知ってほしいと思います。この平和の贈り物は、真の宝物なのです。

そして組織に関わった全てのみなさん、この本当に重要な伝統を生きし続けて下さっていることに私は心から感謝します。本当にありがとうございます。

エミリー・ルビノ(2018年国際青年リレー行進者) = 写真中央

ピースアクション・ニューヨーク州支部 政策・組織拡大担当(アメリカ)

原水協の友人のみなさん、

核のない世界を目指してたゆみなく活動しておられる被爆者と日本中の平和活動家のみなさんに、連帯と称賛を送ります。私たちはこのたたかいの中で運命をともにしているのです。

私は2018年の国際青年リレー行進者として、60年の伝統を持つ日本の平和行進に参加できたことを光栄に思います。アメリカ合衆国市民である青年の一人として、アメリカ政府が、私そして私がともに活動する他の青年たちの声を代弁していないということを明確に示すことは重要だと思いました。なぜなら私たちは核のない世界を望んでいるからです!



私たちは、先輩の反核活動家のみなさんがこれまで本当に長い間掲げてきたたいまつを、未来にむかって掲げ続けます。私は日本の青年のみなさんもこの平和行進に参加されるよう呼びかけます。私たち全員が、核のない未来に向かって力を合わせて活動せねばなりません。歩き続けましょう!

A.G. サニヨ(2019年国際青年リレー行進者)

(アーティスト／平和を教え、平和を創ろう フィリピン)



広島・長崎への原爆投下から75年が近づいています。私は、人間愛が勇気の本当の意味であることを示してくださった被爆者とそのご家族のみなさんに、深い敬愛の念を表明するものです。あと1年で、75年間の苦しみを思い起こし、75年間の癒しの月日を記念する節目の時がやってきます。

被爆者の方々の、恒久平和と核のない世界をという切望を共有する同盟者として、私は彼らのメッセージを世界に届ける使命をこれからも積極的に果たすことを誓います。日本の青年たちにも同じ行

動に立ち上がるよう強く呼びかけます。被爆者の願いを受け継いで、私たちとともに2019年国民平和大行進に加わり、一緒に歩きましょう。

ボルティモア・フェニス(2015年国際青年リレー行進者)

(ミンダナオ人民平和運動 フィリピン)

あらゆる困難にも決して屈することなく核のない未来を追求してこられた、全ての被爆者に大きな敬意を表します。そしてあらゆる形態の軍事化と抑圧に反対して共同で立ち上がり、たたかい続ける全ての活動家、組織者のみなさんに称賛を送ります。

私たちは多くのことを達成してきましたが、まだまだやるべきことが残っています。帝国主義と資本主義勢力は、支配を強めるためにより精巧な兵器で武装しつ

つあります。これは私たちが直面する緊急な気候変動の事態に加えて、人類にとって大きな脅威です。

あらゆる形態の抑圧と核兵器の廃絶のために、命を捧げた人々から勇気を引き継ぎましょう。仲間みなさん、連帯と活動を強めましょう。私たちは運命共同体です。行進しましょう。歩き続けましょう。

私たちの歩くリズムと足音で、夢のメロディを奏でましょう。全ての平和行進参加者、国際青年リレー行進者、そして実行委員会のみなさんのご健勝をお祈りし、祝意と万歳を送ります！



マラヤ・ファブロス(2013 年国際青年リレー行進者)

(非核フィリピン連合)



日本の青年のみなさんへのメッセージ

みなさんに、平和と連帯のごあいさつを送ります。今年の平和行進を前にして、ほんとうに胸がわくわくしています。原水協のみなさん、今年もまた国際青年リレー行進を実現させて下さってありがとうございます。

数年前に行進に参加した私は、平和行進で歩く経験を得たことに深く感謝しています。行進への参加は、被爆者と日本の草の根の平和運動との意義深い交流の機会を私に与えてくれました。歩くことは、瞑想の形態のひとつであり、絆を作る方法でもあります。誰かと数時間一緒に歩いただけで、その人との間には一生続く絆が生まれるのです。

平和行進がいろいろな形でどのように平和について学ぶ場となるのか、そのプロセスもこの目で見る事ができました。だからこそ私は、被爆者の心と記憶を未来につないでくれるよう、もっと多くの若い人たちにこの経験の種を蒔かなければ、という強い衝動に駆られたのです。

被爆者と平和運動が目指すものの根幹にあるのは、あらゆる形態の生命に対する敬意だと思います。正義に根ざした尊厳ある人生は、私たちの生き方のあらゆる側面に現れるものです。社会的、政治的、環境、経済的、そして精神的な面で。

私は日本の若い人たちに、時間を作って平和行進に参加するよう呼びかけたいと思います。数メートルでも、数歩でも、数時間でも、週末だけでもかまいません。頭と心をオープンにして参加してください。いろいろな人に出会って、質問をして、平和について知り、そして平和がいかにあなたの国にとって大事かを学ぶために時間を割いてください。まだ被爆者が生きておられるうちに被爆者に会えるチャンスをつかんでください。その経験を決して忘れないで、あなたの友人すべてと共有してください。

そしてあなたが生涯をかけて平和を創造するなかで、この豊かなプロセスを続けていけますように。平和行進はあなたのものです。他の国々からも青年たちがやってきてこの行進に合流し、体験します。あなたのすぐ近所を通ります。最大限に平和行進を活用してください。特に今、被爆者がまだ生きているうちに。

被爆国の国民であるあなたの声は、核兵器を本当に廃絶しようと呼びかける上で非常に重要です。そしておそらく、気候変動への正義ある解決を呼びかけたスウェーデンのグreta・トゥーンベリさんのように、被爆者とともに、日本の青年としてのあなたの声は、世界中に、とりわけ NPT 関連会議に、良心の声を響かせるでしょう。来年は広島、長崎への原爆投下から 75 年になります。もうそろそろ本当に、核兵器のない世界を実現する時だとは思いませんか？

2019 年 5 月 6 日から 8 月 9 日にかけて、そして 2020 年にかけて、ぜひ一緒に歩きましょう！平和行進の魂を分かち合ってください！行進でお会いしましょう。がんばりましょう！